



代官山春花祭2017 イベント運営参加者募集開始

今年で11回目の開催となる代官山のまちのお祭り「代官山春花祭(だいかんやましゅんかさい)」では、代官山エリア内の住人、店舗・事業所を対象に、2017年5月4日(木)～6日(土)の開催期間中に、楽しいイベントを企画運営していただける方の募集を開始いたします。

代官山春花祭は、

代官山で暮らす人々、働く人々、代官山を訪れる人々のすべてが楽しみ、参加することが出来るいろいろなイベントを開催し、代官山を愛する人々同士により良いお付き合いを育むことによって、代官山の「代官山らしさ」、「都市の洗練された生活」をより一層向上させてゆくことを目指しています。

多くの街が“都市開発”の名のもとに「均質化」「画一化」しつつある時代に、代官山だけは「そこに行くことに価値がある」、「そこで暮らすことに価値がある」街であり続けることが出来るよう、運営者・来場者の双方が「代官山らしさ」という“独自性”や“居心地の良さ”を共有・共感し、いっしょに楽しむことができるイベントになることを期待しています。

代官山春花祭2017ホームページ <http://www.gw-daikanyama.org/>



韓国ソウル市住宅局建築企画課公務員 代スキ会来訪

2016年12月28日(水)、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻川添研究室博士課程黄竣湖氏よりの依頼で、韓国ソウル市住宅局建築企画課公務員の方々に代官山及び代スキ会のご案内をしました。

前半は、代スキ会とのつながりのあるエリアを中心にまちを見学し、「わがまちルール(ルール無きルール、計画内容に関する意見交換を当該運用会議と行うよう促し、協働型のまちづくりを実践)」の話を変えながら高さ規制、総合設計制度の経過、住居・商業の用途共存等について、実際に話し合いが行われた結果、どう変化したかをご説明いたしました。

ヒルサイドテラスでは、模型を見ながら重要文化財旧朝倉家住宅の説明とヒルサイドプラザの駐車場部分の風の流れが通る道筋があることなどをご紹介しました。

後半は、ヒルサイドカフェにて、朝倉副理事長がヒルサイドテラスの歴史や、「一気につくとテーマパークのようになる可能性があるが、少しずつ時間をかけてできたからこそ、住居と商業の共存がゆるやかに行われ現在に至っている」ことを話され、石原事務局長から「大規模に開発する人々はヒルサイドテラスを参考にしてもらいたい」とメッセージを送りました。

その後、韓国ソウル市住宅局建築企画課公務員の皆さんから、代スキ会の由来や構成、多様な年代への対応、わがまちルール、ジェントリフィケーションの問題、他の団体との連携、総合設計制度の考え方などについて質疑が行われました。

野口副事務局長より「ソウルはシェアタウンを目指しているか？」について質問があり、建築企画課長 ハン ビョンヨン氏より、空き家活用として行われており、一部行政として設計段階の住宅改修の際に補助金制度などがあることや、マッチング(ショアハウスの仲介)に際しプロモーションのフォローがあることなどをお聞きしました。

代スキ会から「代スキマップ」「代官山の魅力と源泉 DVD」「DAIKANYAMA SCENE(写真集)」「まちづくりの哲学:都市計画が語らなかつた「場所」と「世界」を今回の記念にお渡ししました。

